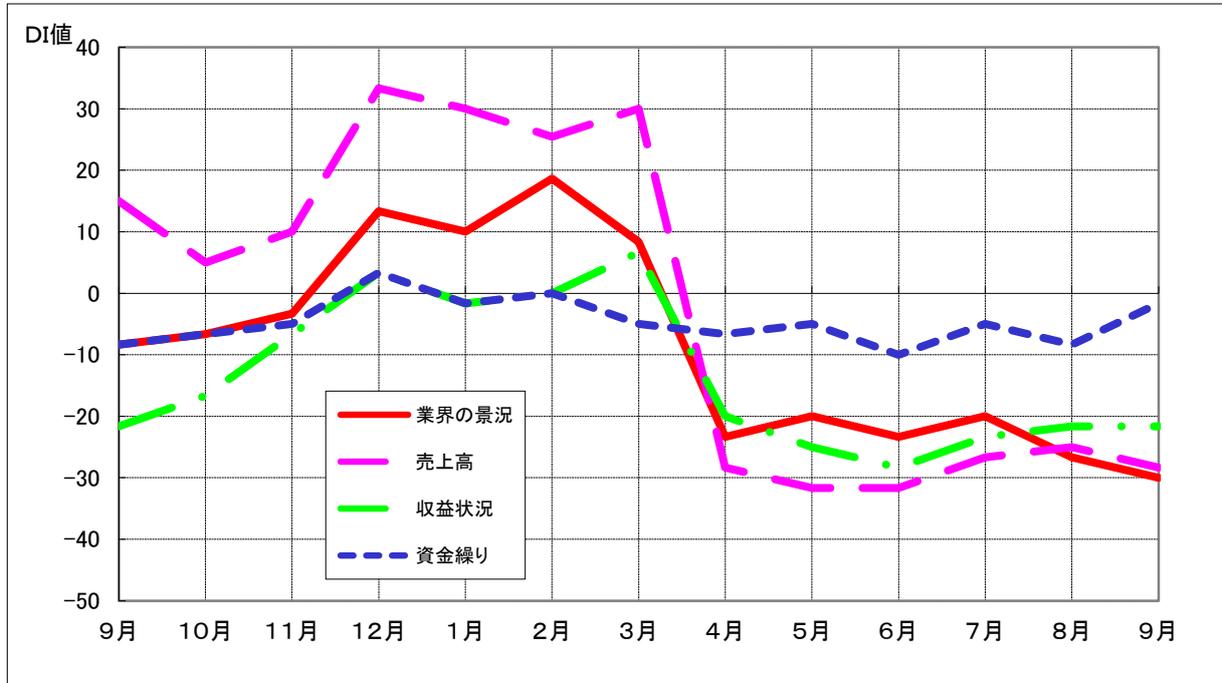


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成25年9月～平成26年9月

単位:ポイント



	H25				H26								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-8.3	-6.7	-3.3	13.3	10.0	18.6	8.3	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0
売上高	15.0	5.0	10.0	33.3	30.0	25.4	30.0	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3
収益状況	-21.7	-16.7	-6.7	3.3	-1.7	0.0	6.7	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7
資金繰り	-8.3	-6.7	-5.0	3.3	-1.7	0.0	-5.0	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7

○9月のDI値は前月と比べ、2項目で悪化し、1項目で改善した。「業界の景況」および「売上高」DI値は3.3ポイント悪化し、「資金繰り」DI値は6.6ポイント改善した。「収益状況」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、こちらも2項目で悪化し、1項目で改善した。「業界の景況」DI値は21.7ポイント、「売上高」DI値は43.3ポイント悪化し、「資金繰り」DI値は6.6ポイント改善した。「収益状況」DI値は変わらなかった。

9月は原材料費やエネルギーコストの高騰にともなって収益が圧迫されているとの報告が目立った。さらに、円安による仕入コストが心配といった、最近の円安を懸念する報告も寄せられ、先行きを楽観視できない状況となっている。

○組合の特記事項からは、製造業では、ハウスウェア製造業から、家庭用・業務用とも受注は総じて低調で、秋口以降の需要回復も厳しいのではないかとと思われるとの報告が、作業工具製造業からは、円安による輸出環境の好転で建機部品の一部に回復が見られるが、仕入価格や原材料の高止まりが収益を圧迫しているとの報告が出ている。非製造業では、商店街から、消費が盛り上がりながら、最近の円安による仕入コストが心配との報告や消費税増税後、来街者の減少が続いているように感じられる等の報告が出ている。